

ツール 33：協働するアイデアの融合

このツールの目的

人々に創造的に物事を考え、異なるアイデアをつなぎ合わせるようにさせる。

このツールを使うタイミング

発散のフェーズ。

なぜアイデアの融合を行うのか

グループワークでありがちなのは、誰かが口にしたある特定のアイデアを追いかけてしまうことである。それは、そうすることが簡単だからかもしれないし、あるいは議論のスピードがあまりにも早く、遅まきながら他のアイデアを思いついても、グループのメンバーに言えなくなってしまうせいかもしれない。また、新たなアイデアを数多く出すブレインストーミングにグループメンバーが消極的な場合もある。これは、どのアイデアがよいか判断するのが難しいかもしれない、あるいはすべてのアイデアを整理して何かを決めるには時間がかかる、というのが理由である。

このツールを用いることで、多くのアイデアを生み出し、効率的にそれらのアイデアを比較し、整理できるようになる。

材料とセッティング

- 以下の目的のために、複数のフリップチャートを準備する：1) アイデアをリストアップする、2) 融合したアイデアをリストアップする。
- タイピングスピードが速い人がいて、グループの人数が多い場合は、出されたアイデアをプロジェクターで投影することを検討してもよい。

ファシリテーション法

第1フェーズ：

- まず、参加者に沈黙を求め、新たな方法でMSPを革新できるようにするためのアイデアを、5分間、個々人で考えるように伝える。この際、新たなアイデアはどのようなものであっても歓迎すると伝えること。アイデアについて判断することは避ける。このフェーズで重要なのは、創造的なブレインストーミングを促すことである。
- グループメンバーが出したアイデアをリストアップする。
- グループが少人数の場合や、ブレインストーミングの最初のラウンドで出た新たなアイデアにメンバーが触発されている場合は、2回目（および3回目）のラウンドを検討する。
- グループ全員にとって、すべてのアイデアが明確で理解できているかを確認する。

第2フェーズ：

- 再び5分間の沈黙の時間を取り、メンバーに対し、ブレインストーミングで出てきたアイデアを融合させることができるかどうか考えるように伝える。
- 参加者にアイデア融合についての意見を出してもらい、それをリストアップする。毎回、グループ全員に、明確に理解できているかどうかを確認する。
- 最後に、全員で、異なるアイデアの融合をサポートするのに何が役立つかを考えさせる。

時間：各フェーズは約30～45分。計1～1.5時間。

さらに知りたい方は：

グループでアイデアを出し合う前に、個々人でアイデアを書き出すことを強く推奨する。この方法は、グループ内の口頭でのブレインストーミングより効果的だ。次のサイトを参照のこと：

<http://www.fastcompany.com/3033567/agendas/brainstorming-doesnt-work-try-thistechnique-instead>